

伯耆町図書館だより

明けましておめでとろございます

皆様には、おすこやかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中はたくさんの方々からご支援を頂き、心より感謝を申し上げます。本年も宜しくお願い致します。



今年は戌年。戌といえば犬。犬は私たちのパートナーとして最も近い動物です。犬と暮らすことで、心が癒され、優しさや思いやり、生命に対する尊厳や愛する心を育てるといわれています。

図書館にも犬を題材にした物語やノンフィクションが多く揃っています。本を通して可愛い犬たちに出会って下さい。



< 出会いと別れとヒトとイヌ >

関 朝之 / 著
誠文堂新光社

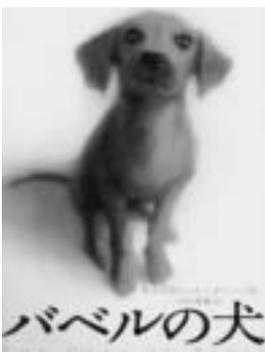
捨て犬から生きてゆく活力をもらう人、離ればなれになってしまった人と犬、盲導犬のおかげで夢がかなった人... 11の小さな物語。



< 犬が本当の家族になるとき >

片野ゆか / 著
講談社

犬の「問題行動」という難問に悩む飼い主たちと、若きドッグトレーナーとの交流を取材したノンフィクション。



< バベルの犬 >

キャロリン・パークハースト / 著
角川書店

突然、妻を亡くしたポール。警察は事故死と断定したが、納得できない彼は、唯一の目撃者である愛犬のローレイに言葉を教え、死の真相を聞き出そうと考える。



< 介助犬ダコタの奇跡 >

マイク・リンゲンフェルター / 著
PHP 研究所

アメリカで権威ある人道主義賞に人間以外で初受賞した犬ダコタ。不思議な予知能力と無償の愛で人々を救った犬をめぐる、感涙の実話。



< ジロー、生きててよかったね >

岸川悦子 / 著
新日本出版

飼い主のお父さんと一緒に、阪神大震災救援の募金活動が続いている犬ジロー。ところが、旅の途中、お父さんが病気で倒れ、離ればなれになってしまいます...



< しらないいぬがついてきた >

小林与志 / 作・絵
鈴木出版

お散歩すると知らない犬がついてきた。どんどん逃げてるうちに、知らない所に来ちゃった！するとその犬が... 詩情しゅれる絵本。